強い気持ちで新時代を歩め つがる市成人式

8月15日、令和元年度つがる市成人式が松の館で開催されました。対象者293人のうち218人が出席。ふるさとへの愛着と誇りを胸に、大人としての第一歩を踏み出しました。

式典は、新成人・長内已子さんの司会進行で滞りなく挙行されました。福島市長は「自分の行動を慎重に考え、強い気持ちで歩んでください。また、人との出会いを大切に、尊敬しあえる人間関係を築いてください」と新成人を激励。新成人を代表して木村俊之介さんが「つがる市の成人として確固たる自覚を持ち、未来へ旅立つことを誓います」と決意を述べました。

会場内では、懐かしい友人との再会でみんなが笑顔。あちこちで仲間とスマートフォンで写真を撮る姿が見られました。

決意を新たにする新成人

司会を務めた長内さん

新成人の抱負

加藤 玲奈 さん

まだ成人した実感は湧きませんが、たくさんの人に支えられて成人式を迎えることができました。同級生と近況報告し合い、自分もがんばらなければと感じています。

来年から社会人なので、責任をもって仕事を全うしたいです。

二川原 啓太郎 さん

理容業を営む父に憧れ、理容師目指して専門学校で勉強中です。

成人が近づくにつれ、人としても仕事の面でも親の大きさを感じるようになりました。両親には感謝しています。将来はお客さんに信頼される理容師になりたいです。

色とりどりの振り袖姿

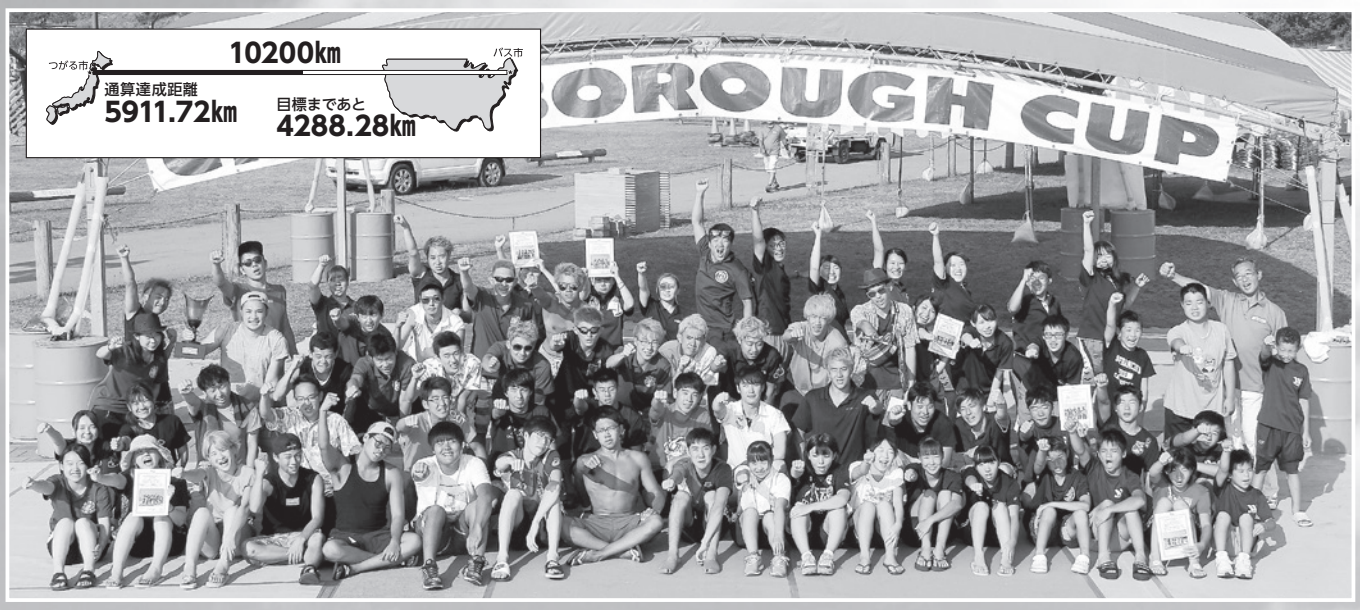
32チーム、173人が力泳　第30回 チェスボローカップ水泳駅伝

チェスボローカップ水泳駅伝が8月4日、車力漁港隣のマグアビーチで開催されました。

この大会は、チェスボロー号遭難救助100周年にあたる平成2年に「勇気と愛は海を越える」のテーマを掲げスタート。参加者が泳いだ距離を毎年累計し、つがる市と姉妹都市米国メーン州バス市との直線距離1万200㎞を泳ぎつなぐことを目標としています。

選手たちは、照り付ける太陽の下、仲間や家族の声援を受けながら、全員合わせて98・45㎞を力泳しました。

勢いよく海に飛び込む選手たち



メロン・スイカを楽しもう！　メロン・スイカフェスティバル

第8回メロン・スイカフェスティバルが8月11日、つがる地球村で開催され、市民のほか帰省や観光で訪れた大勢の家族連れでにぎわいました。

これは、つがる市が全国有数の産地であることをPRする市内最大のイベントで、8月の祝日「山の日」に合わせ、毎年開かれています。

市価よりも安く購入できるメロン、スイカの販売会では、メロンは「タカミ」と「レノン」、スイカは「羅皇」を用意。それぞれの販売テント前には朝から長い列ができ、メロン2106箱、スイカ560玉が約2時間で完売する盛況ぶりを見せました。

スイカの早食いや種飛ばし競争などのステージイベントや、流しそうめん、北海道白老牛のバーベキューコーナーなども人気を集め、来場者は楽しい休日を過ごしました。

即売会にはこの行列が！

人気のメロンスムージー。650食が完売

スイカの種飛ばし競争